

# 國學院大學學術情報リポジトリ

## 日本文化研究所研究会について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-04-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.57529/0002001544">https://doi.org/10.57529/0002001544</a>

## 日本文化研究所研究会について

2021年度に始めた公開の研究会である日本文化研究所研究会を、本年度も引き続き開催し、9回の研究会を催行することができた。研究員同士の相互理解を深め、かつ個々の研究成果を広く社会に対して発信していく有益な場となっている。形式はいずれもZoomを用いたオンラインで、概ね毎回30名程度の参加者を得た。概要を以下に列記する。

- ◆第一回：6月6日（月）19：00～20：00  
発表者：長見菜子（日本文化研究所研究補助員）〔※以下、所属は特に追記がない限り日本文化研究所のもの〕  
発表題目：「『古事記』『軽太子物語』の諸問題—文章表現からみる寓意性—」
- ◆第二回：6月30日（木）19：00～20：40  
発表者：川嶋麗華（助教（特別専任））  
発表題目：「近現代における火葬習俗の変遷—遺体処理にみる伝承性—」
- ◆第三回：7月28日（木）19：00～20：40  
発表者：藤井修平（ポスドク研究員）  
発表題目：「ビッグ・ゴッド理論の検討—宗教認知・進化学的展開の一側面として—」
- ◆第四回：8月25日（木）19：00～20：40  
発表者：木村悠之介（研究補助員）  
発表題目：「近代神道雑誌史・出版史の新たな展望」  
※『中外日報』より取材があり9月7日号で紹介された。
- ◆第五回：10月27日（木）19：00～20：40  
発表者：武井謙悟（ポスドク研究員）  
発表題目：「開帳の近代—近世との連続／断絶」

- ◆第六回：11月30日（水）19：00～20：40  
発表者：大場あや（ポスドク研究員）  
発表題目：「葬儀・墓をめぐる国家政策と改革運動の展開—一日中比較研究に向けて—」
- ◆第七回：2月21日（火）19：00～20：40  
発表者：萩原稔（共同研究員）  
コメンテーター：三ツ松誠（共同研究員、佐賀大学地域学歴史文化研究センター准教授）  
発表題目：「井上正鐵の三宅島における活動とその影響」（トピック7参照）
- ◆第八回：3月7日（火）19：00～21：10  
発表1 19：00～20：00  
発表者：鳴海あかり（研究補助員）  
発表題目：「丑の刻参りの形成・発展・変化」  
発表2 20：10～21：10  
発表者：高田彩（ポスドク研究員）  
発表題目：「宗教集団の運営における宗教的職能者の家族が担う役割—シャドウ・ワークを軸として—」
- ◆第九回：3月28日（火）19：00～21：10  
発表1 19：00～20：00  
発表者：宮澤安紀（ポスドク研究員）  
発表題目：「現代日本における遺骨への態度をめぐる—遺骨の両義性と手元供養品」  
発表2 20：10～21：10  
発表者：小高絢子（共同研究員）  
発表題目：「現代の仏教寺院における信仰の諸相—堀之内妙法寺の参詣者の語りから」

好評であることもあり、次年度以降も、回数や形態を考えながら継続していきたい。

（星野靖二）